〇縣 〇告 ●自動車用タイヤ、 検査等級標準用米穀ノ最高販賣價格指定…………… 京都所、兵庫縣産種麴ノ最高販賣價格指定………… 鮮魚介揇穫者ノ團體並販賣先及委託先指定………… 製絲業組合解散認可: 鲜魚介配給統制規則中改正……………………………………………… 細則中改正..... 假設建築物建築許可 水産物配給統制規則ニ依ル指定中改正…… 目 チューブ配給統制規則施行 次 大六六五五四三二頁頁頁頁頁頁頁頁頁 二二一一頁頁頁頁 規則中左ノ通改正シ公布ノ日ヨ 〇鳥取縣令鄭四號 第十一條ヲ削除ストリーの

昭和十九人二月一 H

四 百 九十七號

第

千

令

縣

昭和十四年五月一日附鳥取縣令第九號自動車用タイヤ、

チ

ブ配給統制規則施行細則中左ノ通改正 ス

昭和十九年二月一日

鳥取縣知事

チ

2.

ブ配給統制規則施行細則

昭和十六年九月鳥取縣令第四十五號鳥取縣鮮魚介配給統制〇鳥取縣令第五號

リ之ヲ施行ス

昭和十九年二月一日 鳥取縣知事

義

第五條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第五條ノニ 知事本縣內 ニニ於ケ 鮮魚介ノ需給調整上必要

鳥取縣公報好週曜日發行(特ハ翌日) 第 千 四 百九十七昭和十九年二月一 號日 (第三種郵便物認可)(昭和四年四月十五日)

大

the -

金 矅

H

鳥

縣

公

報

第千四百九十七號

寶ノ委託先ヲ左ノ通指定ス

昭和

十九年二月一日

鳥取縣知事

武

漁獲ヲ爲ス

者

組織ス

ル

團體並其ノ鮮魚介ノ

販賣先及

取

縣

公

報

Ħ (第三種郵便物認可

數量又 キコ 體 = ヲ命ズル 鮮魚 鮮魚介ノ販賣先又ハ販賣ノ ア ルベシ 介 、販賣先又ハ販賣ノ委託先別漁獲ヲ爲ス者又ハ其ノ組織 三闘シ必要ナル計畫ヲ定 4

場合ニ之ヲ準用ス 第三條乃至第五 規定 ハ前項ノ規定ニ 依リ 命令シ

第五條 Ξ 本縣內 二於テ鮮魚介ノ漁獲ヲ爲ス者又ハ其

ヲ搬入 魚介ヲ販賣シ若ハ販賣ノ委託ヲ爲ズコトヲ得ズ 組織スル團體中知事ノ シタ ル者 知事 アノ指定シ 指定シタ 刄 ル者並ニ本縣内ニ鮮魚介 ル者以外ノ者

但シ左二揚グル場合ハ此ノ限ニ在ラ ズ

知事 指定シ タル場合

事由 [三依リ 知事ノ許可ヲ受ケタル場合

第七條但書ヲ左ノ如ク改ム第六條中第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號ニ繰上グ

但 一シ特別 事由

限ニ在ラズ 依リ 知事ノ 許可ヲ受ケタル場合ハ 此ノ

〇鳥取縣令第六號

昭和十八年六月鳥取縣令第四十號鳥取縣薪炭配給統制規則 昭和十 中左ノ通改正シ公布ノ 九年二月一日 Ħ 3 1 ッ之ヲ施行ス

> 號ヲ加フ第七條第一 項第五號ラ「使用又ハ消費ノ目的」ニ改メ左ノ各 鳥取縣知事 涏 島 義

業務ノ概要

八七六 二項中「第十條第三號及第四號」ヲ「前項第七號及第種類別使用又へ消費ノ豫定數量及其ノ第出ノ基礎前一ケ年ニ於ケル種類別使用又へ消費數量

八號」ニ改ム同條第二項中「第十條第三號及第四號」ヲ

第十條乃至第十二條及第十四條ヲ 削

第三號ヲ削

ル

〇鳥取縣令第七號 樣式第二號、

ル經費中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス昭和二年三月鳥取縣令第十五號資金前渡及槪算拂ヲ爲シ 經費中左ノ通改正シ公布ノ

昭和十九年二月一日

鳥取縣知事 武

義

資金前渡中左ノ費目ヲ加フ

賄費及諸會合、 諸講習會等ニ 要ス ル 設備費

鳥取縣餅、介配給統制規則 〇鳥取縣令告示第三十三號 不介配給統制規則第五條ノ =-

示

ラ 規定 き鮮魚介

 							販	_
錦海同	彦名村同	崎津村同	渡村 同	外江村同	弓濱 同	弓濱 同	弓濱中部同	
右	右	協島取断	右	所息 取縣	會取	所鳥 取 縣	右	
同	同	四部支所縣魚類配給統制	同		四部支所無無類配給統制		同	
				-		境町地區ヲ除ク] ₁ -2
	-					2		

組合は対流業協の

同名ノ

クスの表

附 島

記

協會東部

寶木村同

同

右 右

同 同

協鳥 會取

中部支所縣魚類配給統制

〇鳥取縣告示第三十四號

字津濱同 三橋 **人津賀同** 八濱

闻

北條

闻

大良

同《

右 右 右 右

同 同 同 [ti]

格ヲ有スル者ニ 格ヲ有スル者ニシテ構成員ニ非ザル者ニ付テモ本認可シ同條第二項ノ規定ニ依リ指定地區內ニ於テ構成員タ 價格等統制令第三條第 以テ指定期日ニ於ケル額ト 一項ノ規定ニ依 看做 ス IJ ニ於テ構成員タル査リ左ノ通價格ヲ認河

昭和十九年二月一日

鳥取縣知事 武

義

八橋町同

逢束村同

右

安田浦同

右 右

同 同 同

下中山村同

右協鳥

同

會取

部支類配

給統制

同

組合其 他之ニ準スル モノノ名稱及地區 島

п 地)名 取縣 取縣農業會

Ξ

取

縣

公

報

29

口醬油用 一本表價 三 京都府 兵庫縣 京都府 兵 産 味噌用 味噌用別撰種麴 效胞子 八庫縣 シテ有效胞子 概`資構 統制令第二條第一 ŀ (イ)額 地 ノ實施ノ日 成員 同 種味噌 麴用 同種醬油 ם 普通種麴ハ ハ胞子重量ノニ%以上ヲ含有ス 種 格 B 麹ハ ハ賣主店先渡價格ト 独用 種 ル 市 資格及構成員 醤油醸造最適ノ菌ヲ培養 一七〇 ハ 别 普別普 胞子重量ノ三%以上ヲ含有スル 町村農業會 ゝ 味噌醸造用最適ノ菌ヲ培養 味噌醸造用最適ノ 撰 通,撰 項又八第二項ノ額ニ 匁正 同 匁正 單 **父味** 入味 - 29 袋〇 袋五 位 槪 數 贩卸 · 賣價業 菌ヲ培養セ 三 六 〇 五 〇 三八五 六00 ==0 ==0 格最高 ル セ 代ルベ モルノモ 販小 セ 1 1 ル キ額及其 E = シ モ テ

ニセ〇 四六〇 ₩10 四六〇 041 セニの

價格ト モノ ノ價 ス有 = =

> シテ有效胞子 へ胞子重量ノ五%以上ヲ含有ス ル モ

日!

(ロ)實施ノ

昭和十九年二月

四 認可ニ附シタル條件 (イ)價 格等統制上必要ア ル ŀ 丰 ハ認可

ヲ

取

消

ス

ŀ

ア

)認可價 ル ベシ 格及其ノ實施 日ヲ 成員ノ營業所 揭示

べ

於ケル檢查等級標準用米穀ノ最高販賣價格左ノ食糧管理法施行令第十二條及第十七條ノ規定ニ〇鳥取縣会告示第三十五號 昭和十九年二月一日 最高販賣價格左ノ通指定ス 依リ 本縣

鳥取縣知事 武 義

檢 查標準用米穀最高販賣價格

別 玄米

屑米 同當正 單 男味六〇**瓩** 八〇二九、 一格外標準品 上 記 二七 六 七 五 七

糯 支米

<u>-</u>

一四、三〇 一四。三〇 一四。三〇 一四、九 一四、九 四四 = 格外標準 一四、準 大七品 八路 = 三 販賣區域 許可有效期間 一日ノ販賣數量 一 ケ 年 町 八 貫 圓

於ケル種子用籾ノ最高販賣價格左ノ通指定ス食糧管埋法施行令第十二條及第十七條ノ規定 〇鳥取縣告示第三十七號 最高販賣價格左ノ = 依リ 本縣

昭和十九年二月一日

一糯颗種

精精

同

米 米 別

正 單

上味六〇瓩當 位

三○、六○ 二八、六五

二八、四〇二八、四〇二八、四〇二八、四〇二八、四〇二五

四

糯 粳 種

籾 籾 別

同正單

味十貫當

==

Ξ 粳

籾

肩

Œ. 單

味四五瓩當

位

米 別

鳥取縣知事* 羲

鳥取縣產種子用籾ノ最高販賣價格

同同 (三七五瓩) 最高販賣價格 一三、四、六(四) 八00=

的ヲ以テ販賣スル 本表價格ハ鳥取縣農業會ノ 本表單位量 本表價格ハ生産者庭先渡俵若シク モノニ限リ ザ ル モ 適用 斡旋 ノ價格 ニ依リ ス 八本表單 ル モ 種子 ŀ 立量ノ 價格 二供 ス ŀ ス 正比 ス ル目

例ニ依算出シ 端敷ヲ生ジタ ル 場合 四捨五

四美船壽美代 呵 通リ

許可セリ

昭和十九年二月一日

鳥取

以縣知事

涏

島

許可者住所氏名

東伯郡攤手村尾原三一

千四百九十七號

昭和十九年二月一日

青果物配給統制規則第七條第一 ○鳥取縣◆告示第三十六號

號

=

依リ青果物ノ振覧左ノ

<u>-</u>

三、

愛價格ハーノ三等標準米價格ノ範圍內トス 口玄米ニシテ豫備等級ヲ增置スル場合其ノ標準品ノ最高販

檢査所ノ指示スル場所渡ノ

ニシテ食糧檢査所

ノ指示スル包装ヲ爲シタ

ル

モ

Ī

食糧

査等級標準ノ

價格ト

ス

本表價格ハ食糧檢査所ノ檢

夏價格ハ

一ノ三等標準米價

H

(第三種郵便物認可

公

報

〇鳥取縣鳥告示第三十八號

昭和十九年二月一日 明和十九年二月一日 月二十七日認可七

IJ

築物建築ノ件許可セリ

鳥取縣知事 武 島

〇鳥取縣告示第三十九號

左ノ通改正シ公布ノ日ョリ之ヲ施行ス 配給統制規則第二條、第四條及第五條ノ規定ニ依ル指定) 昭和十八年七月鳥取縣告示第三百六十三號(鳥取縣水產物

昭和十九年二月一日

産業會」ニ改ム 第一號中「保證責任鳥取縣漁業組合聯合會」ヲ「鳥取縣水鳥取縣知事」 武島 一義

合會」ヲ「鳥取縣農業會」ニ改メ「鳥取縣佃煮荷受配給業經濟會」ニ、「保證責任鳥取縣信用購買販賣利用組合聯 第三號中「保證責任全國購買販賣組合聯合會」ヲ「全國農 組合」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

全國農業經濟會ヨリ 入荷スル モノ コ付テハ鳥取縣農業會

昭和十九年二月一日發行昭和十九年二月一日印刷

ž.

市街地建築物法施行細則第二十五條。依り鳥取縣告示第四十號 左ノ通リ假設建

> 構造種別 用 建築物ノ所在地 昭和十九年二月一日

> > 辰

治

義

二二二番

建築物ノ面積

建築主ノ住所氏名 鳥取縣知事 鳥取市富安二一二番地 武

地島取市富安二一一ノー、一 突出セル部分(三八、建築面積)(四九六、 木造屋根瓦葺平家建 木工品製造工場 一六平方米

命令事項

知事必要アリト認ムル 定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スヘシ前項ノ存纏期限滿了ノ時へ都市計畫事業實施者ノ指 若ハ變更スルコトア 本建築物ヲ他人へ譲渡シタル場合ハ十日以内ニ屆出 印刷所(西鳥17) 馬場 原政縣鳥取市梶川町發行者 鳥 販縣鳥取市梶川町 東町 N 1 ^ 丰 ハ本命令書ノ條項ヲ增減 東町 取

肵